

# わが町のここが聞きたい



## 問

### 昨年の豪雨 被災農地等の復旧状況は

## 答

### 41箇所 工事費総額2億5168万円 (発注率68.5パーセント)

ふくざわ ひでみ  
**福沢 秀己** 議員



質問者の動画が  
視聴できます。

**問**  
福沢議員

昨年の8月豪雨は町に甚大な被害をもたらした。当町の基幹産業の一つである農業に関連する農地・農業用施設の現在の復旧状況について伺う。  
①被災した農地・農業用施設復旧事業の進捗状況は。  
②激甚災害の指定により、復旧経費の国庫補助率がかさ上げされることで、受益者負担がどのように算定されたのか。  
③農地・農業用施設の自力復旧事業の実施状況は。  
④被災した農地及び水路等の影響で、現在も営農ができない規模と復旧の見通しは。

**答**  
町長

①農地・農業用施設、被災箇所は50箇所、査定決定額3億6740万円。今年11月末時点の農地・農業用施設災害復旧工事は、41箇所、2億5168万円で、このうち1億989万円（竣工率約30パーセント）の工事が終了した。  
②農家負担の軽減と営農意欲維持を図る目的から、「復旧

事業費の10パーセント又は、高率補助率が適用される施設にあつては5パーセント」と分担金の額を算定する規定を、「復旧事業費にかかる地方負担額の10パーセントに4万円を加えた額又は、事業費の10パーセントのいずれか低い額」に係る条例等を改正した。

【例えば、農地・農業用施設復旧事業費が1000万円と仮定した場合】

(改正前)	受益者負担金は100万円（1000万円×10%）
(改正後)	農業用施設の受益者負担金は5万7千円 大幅な軽減！ （1000万円×1.7%×10%+4万円）国庫補助率98.3% 農地の受益者負担金は9万8千円 大幅な軽減！ （1000万円×5.8%×10%+4万円）国庫補助率94.2%

\* 今回の国庫補助率は、通常の災害復旧事業の補助率に激甚災害に指定されたことで補助率が高上げされています。

③営農意欲維持と早期復旧を図る目的から、比較的小規模な災害復旧を被災農家自らが行った経費の90パーセント、36万円を上限に補助する制度を、これまでの実績で103件、事業費2216万円に対して89.8%に当たる約1990万円を交付している。  
④町の水稲作付面積約318ヘクタールのうち約150ヘクタールが営農できなくなつたと捉えている。町の応急復旧や、農業者の自力復旧により、今年の春までに大半の水田が作付け可能となつた。また、今年11月末時点で営農不可能の水田は15箇所、17.6ヘクタールで、現在、順次復旧工事を進めているが、全体の復旧見通しは、令和7年度末までかかるものと考えている。

